

12/1

いつまでもお元気で
大橋シズエさん満百歳を祝う



元気に満百歳を迎えられた大橋さん（中央）

小松島町の大橋シズエさんが12月1日、満百歳の誕生日を迎えられ、稲田市長や県職員らが大橋さんの入院する市内病院を訪問、祝い状や記念品を送り長寿を祝いました。

大橋さんは明治43年生まれで、女手一つで三兄弟を育てられました。

以前は老人会での活動にも積極的に参加されるほどお元気だったようですが、8年ほど前に脳梗塞で倒れ入院。現在はリハビリにより順調に回復し、食事もしっかり食べられているそうです。

11/19

泰地保育所幼年消防クラブ
『火の用心』パレード



「火の用心」を呼びかける幼年消防クラブ

19日、子供たちと地域住民の防火意識の向上を目的に町内パレードを行いました。

保育所で避難訓練をした後、そろいの法被姿で沿道へ出た児童らは拍子木を打ち鳴らし、「火の用心」と元気な声を響かせ、保育所周辺の約1キロを消防本部の職員や地元消防団第7分団の団員らに見守られながら練り歩きました。

昭和61年から続くこのパレードは、今年で25回目。

11/22

民生委員・児童委員の
宮岡さんが厚生労働
大臣表彰を受賞

「平成22年度全国社会福祉大会」で厚生労働大臣表彰を受賞した民生委員・児童委員の宮岡量子さんが11月22日、市役所を訪れ、稲田市長に受賞報告をしました。

宮岡さんは昭和55年から現在まで民生委員・児童委員として地域の実情把握や相談に取り組み、地域福祉の推進に貢献。長年の実績が評価され、今回の受賞となりました。

12/28

本別町からの行政研修職員
留田桂史さんが研修を終了
市民の皆様へメッセージ

10月から12月までの間、小松島市のみなさまには大変お世話になりましたことに心から感謝申し上げます。

私にとっては、小松島市に來



ることも、本別町以外の場所でも生活することも初めてのことであったので、不安と緊張でいっぱいでしたが、小松島市のみなさまのあたたかさや優しさのおかげで、楽しく研修生活を送ることができたと思っています。

この3ヶ月という限られた期間ではありましたが、小松島市の歴史や文化に触れ、また多くの市民の方々と出会い、お声をかけていただいたりお話ししたりと、大変充実した時間を過ごすこと

ができました。

今後は、私自身のご縁も大切にしながら、小松島市と本別町との交流発展のお役に立てるよう、精一杯努力していきたいと思っております。

最後に、本別町も小松島市に負けないくらい素敵なところですから、多くのみなさまのご来町を心よりお待ちしております。

3ヶ月間本当にありがとうございました。

宝くじの助成を受け煙体験用資機材を配備

このたび財団法人日本防火協会実施の「防火防災訓練用資器材助成事業」の助成を受け、「煙体験ハウス」を購入し、市消防本部に配備しました。

火災で死亡する方の多くは、煙による窒息死が原因といわれています。この煙体験ハウスは人体に無害な煙を使用し、火災発生時の煙の恐ろしさを実際に体験することができ、防災訓練や避難訓練などに活用します。

この事業は宝くじの普及広報事業の一環として行われています。



整備された『煙体験ハウス』